

大和中央道他4路線及び石木城線 都市計画(案)説明会概要(7/8)

日 時:平成24年10月7日(日) 13時30分～15時50分
場 所:奈良市六条二丁目 六条小学校体育館
出席者:約85名

[主な質疑応答]

1.大和中央道他4路線の見直し(都市計画道路の変更・廃止)に関すること

- 大和中央道の計画は完全に廃止するのか。もう復活はないのか。
→4車線としての大和中央道については、県としては廃止が妥当と考えている。最終的には都市計画審議会で判断していただく。
- 西の京は世界遺産であるので、市・県の道路部局だけで施策を考えるのではなく、観光関係部局と話しをして大きく見ないとダメと思う。この前も大型バスが住宅地に迷い込んできて大変だった。周辺の細かな道路整備はいいので、全体のことを考えていただくようお願いする。
- 奈良県の道路整備率は悪すぎる。
南北の幹線は、京奈和自動車道と枚方大和郡山線というが、枚方大和郡山線は2車線のところもある。
→奈良県の道路事情が悪いのは承知している。奈良県には、南北に高速道路のような道路がないことなどにより、本来、高速や国道を通るべき通過交通が、県道、さらには、地域の市道に入り込んでいることが課題である。
このため、南北の幹線では、先ず京奈和自動車道の整備を重点的に進めている。京奈和自動車道については、郡山ジャンクションがH25に完成する予定で、大和北道路については、西名阪自動車道から済生会病院付近に建設予定の奈良ICまでをH21に事業化し、H30年代中頃には完成させたいと考えており、重点的に整備を進めている。
- 南北、東西とも、まっすぐに通った道がない。とにかく、大和中央道を繋げてほしい。砂茶屋交差点は渋滞が激しく、何回も信号待ちをする。
→枚方大和郡山線の砂茶屋交差点については4車線化の都市計画手続きを進めており、整備が完了すれば、砂茶屋交差点の課題も解消すると考えている。
また、県も国も予算状況は大変厳しいので、必要性が高いところを絞って重点的に整備していく必要があると考えている。枚方大和郡山線は重点的に整備する路線である。
- 大和中央道を廃止したところに新病院を計画しており、病院のために廃止したように見える。
→大和中央道の見直しを公表したのは平成21年であり、病院の計画は平成23年であり、病院のために廃止としたものではない。
- 奈良市押熊町付近の大和中央道の整備済区間はどうか。
→旧奈良工業高校付近かあやめ池付近の近鉄線路までを奈良市が事業中であり、用地買収をしているところ。
- そこまでできているのになぜ廃止するのか。枚方大和郡山線を通ると遠回りになる。計画を廃止せず、まっすぐ繋ぐべき。
- 大和田紀寺線の計画は西ノ京六条線のルートを通るのか。

→大和田紀寺線は、大池の北側をって、ほぼ直線に国道24号の八条跨線橋のあたりにつながるような計画であり、西ノ京六条線と大和田紀寺線は別のルートである。

○都市計画の予定があれば、計画区域内には家などは建てられないのではないのか。

大池の北側を大和田紀寺線の計画があると言っていたが、大和田紀寺線が廃止になるまで、コンクリートの建物は建てられないのではないのか。

現在、大池の北側には、そのような建物(保育園)が建っている。

→都市計画決定した区域については、木造2階建ての家は建てられるが、コンクリートの建物は建てられない。建築確認の審査の際にチェックするので、その建物は都市計画道路の区域と重なっていないと考える。

2.石木城線の新設(新規都市計画決定)に関すること

○意見・質問無し

3.地区内道路の整備に関すること

○医療センター前の西側の住宅地内で接触事故があった。課題解消を考えているのか。バイパス整備はしないのか。

→バイパスも1つの案と思う。市と協議を行い、行政の案を先ずまとめたい。その上で関係者に説明させていただくことになる。地権者の協力も勿論必要となる。また、医療センター前の道路については医療センターの用地が一部協力いただけたら解消可能と考えている。

○自動車学校の前の道路は、生駒や富雄川からの抜け道になっている。どのように考えているのか。

→自動車学校周辺の市道については、病院ができると迷走する車が流入する恐れもあると考えるので、幹線道路への案内誘導を徹底したい。そのため、カーナビの会社とも連携していきたい。それでも通過交通があるようなら、ゾーン30など交通規制を、地域の方々と協議をさせていただきながら考えていきたい。

○奈良県の道路改良率は全国ワーストワンと言っていたが、少しでもランクアップするよう努力すべきではないか。観光のことを考えるべきであり、道路や駐車場がないと意味がない。六条地区にはまともな道がない。

→道路整備のための予算確保については、国に全力をあげて要望している。その上で、先ずは幹線道路の整備に重点的に取り組んでいる。また、六条地区の問題については、地域が少しでも良くなるよう、市と一体的に取り組んでいきたい。

○近鉄九条駅からのアクセスはどのように考えているのか。西ノ京六条線について約5年前に聞いた話と何も変わっていないが、どう考えているのか。

→急行が止まる郡山駅および西ノ京駅から病院までの間を公共機関のルートとして考えて対策を検討している。九条駅周辺の市道については、交通量は3千台程度で、道路も狭く課題があることは認識している。先ずは、通過交通が地域に流入しないよう幹線道路を通ってもらうことが重要と考えており、九条駅からの対策については現在検討していない。

西ノ京六条線については用地取得が約80%であり、相手もあることではあるが開院までの開通を目指し努力していく。

○九条駅周辺の道路が整備され、抜け道となってしまうている。通学路もあり危ない。

→県内の通学路について危険な箇所がどこか、地元、学校、警察も含め点検をしているところ。
西ノ京六条線については、出来る限り積極的に地権者と協議を行っていく必要があると思っており、県も市と一体で取り組む必要があると考えている。

○三松禅寺のところの道路整備を市に要望しているが、実現していない。市に再度要望する。

○西の京自動車学校で遺跡が出てきたとの情報もある。この一帯は遺跡も多く事業が止まる可能性もある。

○近鉄九条駅からの抜け道の問題についてはしっかり考えていただきたい。道路は狭いし、新病院建設の工事用車両の問題もある。

→通過交通の問題は認識しており、県は京奈和自動車道や枚方大和郡山線等の幹線道路の整備を頑張っていきたい。九条付近の通過交通の問題で言うと、城廻り線や柳町工区という東西の幹線道路の整備も頑張って進めている。先程も説明したとおり、新病院造成の工事用車両は西側県道からの進入路を作り利用する予定で、地域にご迷惑をかけないように取り組んでいく。

4.その他

○交番から西ノ京駅までについては、平日、休日とも踏切の遮断時間が長く渋滞がひどい。このような状況の中を病院建設の工事車両が通るのは断固反対だ。

→病院造成工事の車両は、枚方大和郡山線から入るように考えており、病院の東の方から入らないように徹底する。

○都市計画案の縦覧と意見書の提出の期間は。

→意見書の提出は縦覧期間中の2週間であり、10月23日～11月6日を予定している。市役所および県庁で縦覧し、HPでも内容を確認できる。

○HPで縦覧できるなら、メールで意見書を提出できるようにすべき。

→郵送か持参で提出して頂きたい。

○説明会はこれで終わりなのか。説明会での意見および意見書を基にどのように修正したかを再度説明会で説明していただきたい。

→都市計画の説明会は今回が最後である。皆様からいただいた意見の要旨は、県の都市計画審議会でご審議いただく。